

# れんごう中越地協

第640号 2009.5.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部1.0円

## 緑化運動推進機関

### 新潟緑百年物語の長岡地域連絡会を設立

県内の緑化推進のセンターとなつて、(社)緑百年物語の地域活動の交流と情報交換を促進するための長岡地域連絡会が4月23日(木)ながおが市民センターにて設立総会を行った。

設立総会には県長岡地域振興局や長岡市の農林部などの行政機関を来賓に招いて、中越地域で緑化推進事業を積極的に推進している14の団体が参集。こ



れまでに県内で4か所の地域連絡会が設置されているが、完全な民間組織だけで構成されるスタートするのは初めてのケース。

自己紹介と簡単な活動事例の紹介がなされた。地域としては長岡を始めて、小千谷、川口から魚沼・南魚沼域となった。初年度は、各組織・団体の活動交流を中心に進めて

### 連合中越メーデー反省会の案内

☆前段：第18回連合中越幹事会☆  
日時 5月15日(金)18:30~  
会場 長岡グランドホテル  
内容 前半は幹事会、引き続き、S J ネット等メーデー開催関係者による合同の反省会。

緑化事業で共通している課題は、何といても事業資金確保。荒廃した山林が私有地の場合、生活に無縁の山にお金をかける所有者はいないし、国有地や公有地でも費用負担する場合も殆ど例がない。

4月24日(金)午前10時30分から昼食を挟んだ午後2時近くまでのヒアリングは埼玉県労協と連合総研が実施したもの。昨秋に連合総研が連合中越を訪れて実施したものをベースに設問項目を設定され、特に市民活動・NPOとの連携に焦点を絞った内容となった。連合中越が事務局となっている家庭

4月22日(水)長岡地区アジアアフリカ救済米運動イベントとして、手植え体験の他、バケツ稲の生育体験、豚汁昼食づくりなどが盛りだくさんの内容となった。当日は、例年通り、雨天決行で企画され、子供たちを出来るだけ多く参加させることも確認された。

生ごみリサイクルサークルやNPO地域循環ネットの活動や関わりに関心を持った意見交換がなされた。埼玉県労協事務局は「地域に顔が見える連合運動について連合

### 地域に顔が見える活動調査

自身がお勘違いをしている地域がある。顔が見える運動を「連合」の名前が出る運動と思っではなく、名前が出る事になって推進する運動が前に出ることなんだということが良くわかった。と感想。今夏ぐらいい調査資料がまとめられる予定とのこと。

### 連合中越S J ネット委員会の案内

日時 5月21日(木)18:30~  
会場 長岡市勤労会館  
内容 文化交流会について当面する諸行動についてその他  
※詳細は地協発第114-3参照願います

### 連合新潟 第3回地協代表者会議の案内

日時 5月16日(土)13:00~  
会場 ガレソンホール(JR新潟駅前)  
内容 地協・支部・LSC活動の強化について第45回衆院選対策について2010自治体要望について

### LSC見附事務所応援団 みつけ元気助け合いの会主催

## ソバ打ち体験 ソバ食べ放題企画

先着15名募集  
日時 5月17日(日)11:00~  
※ソバ打ち体験希望者は10:30集合  
会場 長岡市柿町・エコファーム新潟  
※参加申し込み者には地図等送付します  
参加費 1人1,000円(ソバ打ち体験は無料)  
※天ぷら付ソバ食べ放題  
※原料のソバは、みつけ元気会が昨年栽培・収穫した、耕作放棄畑での無農薬・無化学肥料栽培ソバ粉100%を石臼で3日間かけて引く。こんなにエコで、こんなに贅沢な企画は又となし!。ソバ打ち指導員2人ば「みつけ元気会」のリーダーだ。とても優しい指導だ。来たれ勇者。※申し込みは、ながおがLSC「24-0535」だ。

豚インフルエンザが猛威をふるっている。メキシコ発だが既にメキシコ渡航者が感染の範囲は、アメリカ・カナダ・スペイン・オーストラリア・ブラジルと感染・疑いは10カ国を超えた。  
●鳥インフルエンザの流行時にも掲載したがこの種の流行は、60年から80年周期で発生している。大きな違いは、皮肉なことに抗体物質が開発されるたびに、ウイルスも負けじと進化して対抗していること。  
●微生物の中には摂氏80度の環境で生息・繁殖を続けている種類もある。海底活火山の噴出付近で人間にとっては毒物の硫酸化合物・硫化水素が餌だ。  
●何でも開発一辺倒の対処だけではなく、自然と共生して生きる姿勢も必要。感染を拡大させない為に、まずは意味のない渡航は控えるべき。食料は地産地消を基本にして、農薬や化学肥料に出来るだけ依存しない農作物が重要。人・動物植物の無秩序の交錯は遺伝子を狂わす。遺伝子組換えによる動植物生産の影響もそう遠くない将来に発生する事だろう。

サラリーマン川柳(捨てないで今じゃ男のいうセリフ)(繰り返すお見合い写真で写真集)(審査員歌を著めずに年を褒め)(検診の前は拒食で後過食)

サラリーマン川柳 (ダイエット犬の散歩で犬が痩せ) (退社ベル鳴ったとたんに去る眠気)

(子離れをした頃亭主家にいる)

(スーパーのチラシが妻の円相場)

# ワークシェアリングで働き方の変革を!

雇用状況の急激な悪化を受け、先般3月23日、政府・連合・経団連など政労使が、雇用安定・創出の取り組みについて合意。

過去にも、不況になると論議され、好況になると消えていた「ワークシェアリング論争」。どこかずれた論議が続いた。日本の労働時間が欧米に比較して、超長時間労働であることの抜本改正が柱となるべき課題で、そこを見失うと、同じ繰り返しとなる。

まずは、論議の素材としてワークシェアリングを研究しておられる、お二方の提起を聞いてみよう。そこから真剣に論議を開始しよう。

連合中越・長岡商工会議所の共催で、労使が合同で提起を受けます。質疑も含めふるって参加願います。

## 第一日

5月11日(月) 18:00~20:00 長岡商工会議所

講師 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

主任研究員 小倉 一哉 氏

※18:00~18:30は県地域振興局の別事案解説

## 第二日

5月21日(木) 18:30~20:00 長岡商工会議所

講師 学習院大学 経済学部

教授 脇坂 明氏

※参加費は無料です。

両日通し受講が望ましいですが、勤務等の都合でどちらか一方の受講も歓迎します。



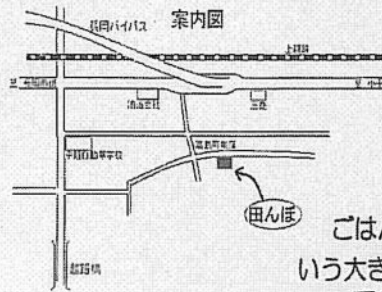
共催：連合中越(24-0515)・長岡商工会議所(32-4500)

# 救援米を送ろう! 2009田植え

## 大人も、子供も泥んこになって春の一日を楽しもう!

### 参加者大募集

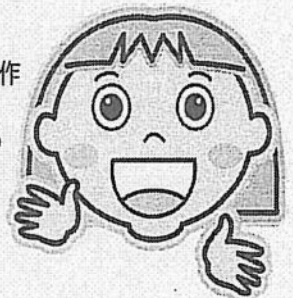
とき 5月16日 土曜日  
午前9時50分集合 雨天決行  
ところ 長岡市高島町の田んぼ  
日程 10時00分 開会式



今年も待ちに待った田植えを行います。  
今年の田植えは、ひと味違うぞ!  
集まってくれた子供達に、バケツ稲を作ってもらおうよ。  
りっぱに育てて秋のコンテストで表彰してもらおう!  
学校の自由研究にもなるように、観察ノートもついているよ。

ごはんを食べたあとは、**ドン!!**という大きな音をたてて「**ポン菓子**」を作って参加者全員にプレゼントします。  
春の一日、泥んこになりながら毎日食べる「お米」や、「環境」問題も一緒に考えてみましょう。

お昼には、**おいしいどん汁**が出るよ!



田植え指導 良く聞いてね  
田植え  
バケツ稲の植え付け  
お昼ごはんとお話し  
ポン菓子を作るよ!  
13時00分 終了(また秋にあいましょう)

参加費 大人100円、子供は無料  
そのた 汚れても良い服装で来てね  
(サンダル、タオルは各自で)

おにぎり、お箸、お桶は、各自で用意してね。主催：アジア・アフリカ救援米中越地区実行委員会

TEL 258-24-0515 連合中越地域協議会まで